

## 2014年度業績集

### 外科

[学術論文—学会誌]

Kohei Shigeta, Yoshiyuki Ishii, Hirotoshi Hasegawa, Koji Okabayashi, Yuko Kitagawa Evaluation of 5-Fluorouracil Metabolic Enzymes as Predictors of Response to Adjuvant Chemotherapy Outcomes in Patients with StageII/III Colorectal Cancer: A Decision-Curve Analysis World Journal of Surgery 38:3248-3256 2014. 10. 29

[学術論文—症例報告書]

四倉正也、鈴木慶一、金田宗久、浅沼史樹、山田好則 副膵管に総胆管が合流した膵胆管合流異常症・完全膵管癒合不全合併の1切除例 日本消化器外科学会雑誌 47巻:321-328 2014. 6. 1

[学会発表—一般講演]

浅沼史樹、関 大仁、大作昌義、山田好則、中村理恵子、首村智久、森永正二郎 乳癌術後同側腋窩リンパ節再発3例の治療経験 第22回日本乳癌学会学術総会(大阪)2014. 7. 10

浅沼史樹、関 大仁、大作昌義、鈴木慶一、金田宗久、山田好則、森永正二郎 乳癌再発に対する内分泌療法と化学療法の効果 第12回日本臨床腫瘍学会学術集会(福岡)2014. 7. 17

石井良幸、瀬尾雄樹、鶴田雅士、岡林剛史、長谷川博俊、大作昌義、浅沼史樹、渡邊昌彦、北川雄光 大腸癌におけるCetuximabの抗体依存性細胞障害(ADCC)活性と細胞表面EGF-R発現の関連 第52回日本癌治療学会学術集会(神奈川)2014. 8. 29

岡 英俊、石井良幸、金田宗久、柳澤貴子、鈴木慶一、大作昌義、浅沼史樹、北川雄光、渡邊昌彦 当院における腸閉塞に対する腹腔鏡下手術の工夫と治療成績 第27回日本内視鏡外科学会総会(岩手)2014. 10. 2

石井良幸、金田宗久、岡 英俊、柳澤貴子、鈴木慶一、大作昌義、浅沼史樹、長谷川博俊、北川雄光、渡邊昌彦 大腸癌におけるSingle IncisionおよびReduced-port Laparoscopic Surgery 第27回日本内視鏡外科学会総会(岩手)2014. 10. 3

大作昌義、関 大仁、金田宗久、鈴木慶一、浅沼史樹、石井良幸、渡邊昌彦 横隔膜ヘルニアに対して、マクソンの直針を使用することで腹腔鏡下に直接縫合できた一例 第

27 回日本消化器外科学会総会(岩手)2014. 10. 4

石井良幸、鶴田雅士、岡林剛史、長谷川博俊、北川雄光、渡邊昌彦 大腸癌に対する化学療法  
の感受性予測および治療標的としての Heat Shock Protein 27 第 69 回日本大腸肛門病学会学術集会(神奈川)2014. 11. 8

柳澤貴子、関 大仁、山田好則、浅沼史樹、森永正二郎、矢内原 久、金田宗久、鈴木慶一、  
神谷紀輝、大作昌義、中嶋純子 女性化乳房を合併した同時性両側性男性乳癌の 1 例 第 11 回日本乳癌学会関東地方会(東京)2014. 12. 6

石井良幸、金田宗久、鈴木慶一、大作昌義、浅沼史樹、北川雄光、渡邊昌彦 直腸癌に  
対する reduced port surgery の治療成績 第 82 回大腸癌研究会(東京)2015. 1. 23

[学会発表—その他]

石井良幸 一般演題 154 小腸 腫瘍 2、司会 第 27 回日本消化器外科学会総会(岩手)2014. 10. 3

石井良幸 大腸癌 基礎 1、座長 第 69 回日本大腸肛門病学会学術集会(神奈川)2014. 11. 7

石井良幸 研修医セッション 小腸 2、座長 第 76 回日本臨床外科学会総会(福島)2014. 11. 22

[その他—その他]

石井良幸 大腸がんに対する外科治療の up-to-date 腫瘍センター勉強会(東京)2014. 5. 28

石井良幸 腹腔鏡下大腸切除術 LAP-Colorectal Video Conference(東京)2014. 9. 12

石井良幸 大腸癌化学療法のエビデンスと実践 メルクセローノ社内レクチャー(東京)2014. 9. 19

石井良幸 大腸がんの診断と治療 平成 26 年度つくし会総会(東京)2014. 10. 16

石井良幸 Cetuximab の ADCC 活性 大腸がん治療勉強会(東京)2015. 1. 16

石井良幸 消化器外科領域の腹腔鏡下手術の安全性と有用性 第3回北里研究所腹腔鏡下手術講習会(静岡)2015.3.14

## 看護部

[著書—学術書]

和田奈美子 薬物療法に伴うリスク 看護実践のための根拠がわかる 老年看護技術  
分担執筆 :259-269 2015. 1. 8

[著書—その他]

和田奈美子 BPSD 発生時のアセスメントとケアの実践 多動・興奮 看護技術  
VOL60N06:36-40 2014. 5. 20

和田奈美子 事例で学ぶ 認知症患者のアセスメントとケア 不潔行為のみられる患者  
看護技術 VOL61 N02:72-75 2015. 2. 20

和田奈美子 エンド・オブ・ライフを見据えた「高齢者看護のキホン」100 看護 分  
担執筆 VOL67N04:76-79 2015. 3. 15

[学会発表—一般講演]

桑田美代子、岡本充子、吉岡佐知子、西山みどり、高梨早苗、田中久美、和田奈美子  
End-of-Life-Nursing Education Consortium-Japan 高齢者カリキュラム 看護師教育プ  
ログラムの評価 自由記述の内容分析 第19回日本老年看護学会学術集会(愛  
知)2014. 6. 28

桑田美代子、岡本充子、吉岡佐知子、西山みどり、高梨早苗、田中久美、和田奈美子 高  
齢者ケア施設における End-of-Life ケアの阻害要因と推進要因 エキスパートを対象と  
したフォーカスグループインタビューから 第19回日本老年看護学会学術集会(愛  
知)2014. 6. 28

峰 博子、宇佐美しおり、吉田智美、和田奈美子 専門看護師が (CNS) が行う  
Transitional Care の特徴とその成果 第45回日本看護学会-看護管理(宮崎)2014. 9. 25

宇佐美しおり、峰 博子、吉田智美、和田奈美子 専門看護師 (CNS) の Transitional  
Care とその評価 第34回日本看護科学学会学術集会(愛知)2014. 11. 29

藤田由佳里、三木暁子、直井美沙希 特別個別室病棟における北里モジュール方式の現  
状を振り返る 2014. 12. 20

[学会発表－特別講演]

和田奈美子 入院高齢者の看護アセスメント 感覚機能と認知機能に焦点を当てて 第14回日本運動器看護学会学術集会(神奈川)2014. 6. 7

[学会発表－シンポジウム, パネル]

山元智穂、山下由香、齊田綾子、和田奈美子、塩塚優子 老人看護専門看護師が実践する市民に向けた活動の評価－介護相談会の相談内容を振り返って－ 第1回日本CNS看護学会(東京)2014. 5. 25

[その他－その他]

和田奈美子 北里大学大学院看護学研究科 老年看護学Ⅰ講義 2014. 5. 15

塚本洋子 成人看護学方法論Ⅲ：糖代謝 (埼玉)2014. 7. 11

和田奈美子 日本老年看護学会 平成26年度生涯学習支援研修 実践編 (ELNEC-J 高齢者カリキュラム看護師教育プログラム) 2014. 10. 25

和田奈美子 東京都看護協会 高齢者のエンド・オブ・ライフを支える包括的研修プログラム 講師 2014. 11. 28

## 眼科

[学術論文－学会誌]

糸井素純、稲葉昌丸、植田喜一、宇津見義一、大橋裕一、小川句子、梶田雅義、金井 淳、木下 茂、小玉裕司、崎 元、佐野研二、澤 充、塩谷 浩、高村悦子、濱野 孝、針谷明美、福田昌彦、前田直之、水谷 聡、村上 晶、柳井亮二、渡辺 潔 コンタクトレンズ診療ガイドライン（第2報） 日本眼科学会雑誌 第118巻 第7号:582

2014. 7. 10

## 形成外科

[学会発表—一般講演]

佐藤英明、武田 啓、宇津木龍一 手術シミュレーションの結果と実際 第32回日本臨床皮膚外科学会学術大会(北海道)2014. 5. 24

[学会発表—特別講演]

佐藤英明 中間評価『ボツリヌストキシン療法』 第32回日本美容皮膚科学会総会・学術大会(千葉)2014. 7. 13

佐藤英明、古山登隆、川島 眞 患者満足度を高めるノンサージェリー美容の実践と導入「ボランティアモデルでの実際のアセスメントと施術実演」 第32回日本美容皮膚科学会総会・学術大会ポストコンGRESS 日本ノンサージェリー美容アカデミー・特別セミナー(千葉)2014. 7. 13

[学会発表—シンポジウム, パネル]

佐藤英明、武田 啓、内沼栄樹 パネルディスカッション 3 二次的下眼瞼形成術PD3-1 変形に対する下眼瞼形成術 第57回日本形成外科学会総会・学術大会(長崎)2014. 4. 11

Hideaki Sato Management of Aging Japanese upper eyelid The 12th Korean-Japan Congress of Plastic and Reconstructive Surgery2014. 5. 16

佐藤英明、毛利麻里、小野准平、武田 啓 シンポジウム1 「注入剤(ヒアルロン酸他)における注意点」SY1-3 ヒアルロン酸注入における疼痛管理 第37回日本美容外科学会総会(東京)2014. 9. 3

佐藤英明、毛利麻里、小野准平、武田 啓 シンポジウム6 「ボツリヌストキシン」SY6-4 ボツリヌストキシンとフィラーのコンビネーション治療 第37回日本美容外科学会総会(東京)2014. 9. 4

[学会発表—その他]

佐藤英明 レーザー・皮膚美容治療の新しいステージ—新しい治療法と疼痛管理—LS5-1 フィラーとボツリヌストキシンの疼痛管理 第57回日本形成外科学会総会・学術大会(長崎)2014. 4. 9

佐藤英明、古山登隆、西村 雄、飯尾礼美 ハンズオンセミナー「アセスメント&施注  
模型体験」 第 57 回日本形成外科学会総会・学術大会(長崎)2014. 4. 10

佐藤英明 総合的アセスメントを踏まえた注入系治療戦略 第 57 回日本形成外科学会  
総会・学術大会(長崎)2014. 4. 10

佐藤英明、西村 雄、今泉明子、飯尾礼美 ハンズオンセミナー4「注入系治療アセス  
メント&施注体験 ジュビダーム®ビスタ」 第 32 回日本美容皮膚科学会総会・学術大  
会(千葉)2014. 7. 12

佐藤英明、山口麻子、西村 雄、今泉明子 ハンズオンセミナー4「注入系治療アセス  
メント&施注体験 ボトックスビスタ®」 第 32 回日本美容皮膚科学会総会・学術大会  
(千葉)2014. 7. 13

佐藤英明 アンチエイジングのための注射治療 第 8 回見た目のアンチエイジング研  
究会(東京)2014. 9. 28

[その他ー公開講座]

佐藤英明、古山登隆、Andre Braz Live Injection&パネルディスカッション Juvederm  
Vista 発売記念講演会(東京)2014. 4. 20

佐藤英明 ヒアルロン酸注入の成功例 Advisory Board Meeting(東京)2014. 5. 11

佐藤英明、伊丹 彰、前田一彦 症例発表アセスメント&ライブインジェクション ジ  
ュビダームビスタ発売記念講演会〜ジュビダームビスタで始める美容医療(北海  
道)2014. 7. 27

[その他ーその他]

佐藤英明 「まぶた」の病気が不調を招く 日経おとなの OFF 2014-7:42-43 2014. 6. 6



## 耳鼻咽喉科

[学会発表—一般講演]

若林健一郎、武井泰彦、木下訓光、林 規隆、上西洋二、中嶋純子、中谷桂子、根本奈津美、新井理沙、小田島一弘、山根明華、渡邊雄一 CPAP 療法中の患者に対する運動療法に関する検討 第 39 回 日本睡眠学会 定期学術集会(徳島)2014. 7. 4

[その他—その他]

若林健一郎 臨床医学概論 2 耳鼻咽喉科 2014. 9. 8

若林健一郎 重症度スコア・ガイドラインに基づく咽頭・扁桃炎、急性副鼻腔炎の加療手術手技研究会(東京)2014. 9. 18

若林健一郎 花粉症に対するベポタスチンベシル酸塩の有効性に関する検討—花粉曝露室・睡眠アンケート調査を用いて— 港区耳鼻科医会(東京)2015. 2. 18

## 腫瘍センター

[学会発表—一般講演]

原真理子、斎 弘子、和知由紀枝、河部 彩、荻原修代 がん患者のアドヒアランスを高めるための取り組み外来化学療法を受けるがん患者へのケア 東京都がん診療連携協議会主催がん看護研修会(東京)2015. 1. 17

荻原修代 がん相談支援センターにおけるがん看護専門看護師の相談支援に関する調査研究 第29回日本がん看護学会学術集会(神奈川)2015. 3. 1

[その他—その他]

荻原修代 平成26年度第4回がん相談支援センター相談員基礎研修会(3)講師 平成26年度第4回がん相談支援センター相談員基礎研修会(3)(東京)2014. 8. 16

荻原修代 成人看護学方法論Ⅳがん看護 講師 北里大学看護専門学校2年生講義(埼玉)2014. 9. 25

## 診療技術部

[学会発表—一般講演]

島田真理子、泉 妃咲、内田淳一、井上 岳、塚本洋子、渡辺雄一、山田善史、山田 悟  
糖質制限食指導の有効性の検討② 第 57 回日本糖尿病学会年次学術集会(大  
阪)2014. 5. 24

月居茉莉子、木村さゆり、高野和男、中島千鹿子、手金あけみ、内田淳一、坂本哲也、  
稲葉悦子、村山 章、重田 暁、松川敏徳、柄澤加奈子 当院診療技術部における過去  
5年間のインシデント・アクシデント事例分析 第 1 回日本医療安全学会(東  
京)2014. 9. 22

安富蔵人、島田 恵、馬場彰泰、小杉理恵、赤石 誠 Small Heart 患者における新規  
心筋 SPECT 解析ソフトウェアを用いた心機能解析の有用性 第 6 2 回 日本心臓病学  
会学術集会(宮城)2014. 9. 28

島田真理子、泉 妃咲、内田淳一、井上 岳、塚本洋子、渡辺雄一、山田善史、山田 悟  
糖質制限食指導の有効性の検討 第 11 回日本在宅静脈経腸栄養研究会学術集会(東  
京)2014. 10. 4

阿部 宙、渡邊裕之、戸田成昭、松本卓也、重田 暁、月村泰規、齋藤良彦、松永篤彦  
Characteristics of spino-pelvic alignment in Japanese patients with end-stage  
knee osteoarthritis ACSMS be active 20142014. 10. 16

阿部 宙、戸田成昭、渡邊裕之、月村泰規、重田 暁、齋藤良彦、松永篤彦 人工膝関  
節全置換術後の身体活動量の推移と術前の運動機能との関連性 第 4 5 回日本人工関  
節学会(福岡)2015. 2. 27

重田 暁、松本卓也、渡邊智之、阿部 宙、戸田成昭、宮古裕樹、松永篤彦、赤石 誠、  
月村泰規 慢性腎臓病(CKD)は運動器疾患患者のリハビリテーション進行に影響を及ぼ  
す 第 5 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会(東京)2015. 3. 21

松本卓也、重田 暁、南里佑太、島田 恵、馬場彰泰、小杉理恵、赤石 誠 Phase II  
の心臓弁膜症術後患者における 6 分間歩行距離の改善には心機能と腎機能および運動  
機能は関与するか? 第 5 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会(東  
京)2015. 3. 22

[学会発表ーシンポジウム, パネル]

重田 暁 腎の機能からみた連関 第 10429 回理学療法士講習会(岡山)2014. 11. 29

重田 暁 腎臓リハビリテーションの考え方とその実践 滋賀県理学療法士会 内部障害研修会(滋賀)2014. 12. 7

[学会発表ーその他]

関 初穂 ベッドサイドでの嚥下評価 東京都言語聴覚士会 総会后講演会(東京)2014. 5. 25

中島千鹿子、島田真理子、内田淳一、穴田 聡、関 初穂、佐藤実和、内藤直美、田代収子、宮氏康紀、八木澤啓司、宮下博幸、中野 雅、山田 悟、日比紀文 栄養療法におけるメディカルスタッフの役割～廃用症候群・嚥下障害・麻痺性イレウスの一例を在宅療養へつなげた経過～ 第 11 回在宅静脈経腸栄養学会 2014. 10. 4

[その他ー公開講座]

中島千鹿子 免疫を高める食生活 アンコア 乳癌手術後の女性プログラム(東京)2014. 5. 31

内田淳一 緩やかな糖質制限食について 全国労災病院栄養士協議会研修会(神奈川県)2014. 6. 7

中島千鹿子、内田淳一 骨粗鬆症を防ぐ食事のポイント ロコモ教室(東京)2014. 6. 30

泉 妃咲 東京ガス厨 B0!SHIODOME 「B0!料理セミナー」 2014. 9. 3

内田淳一 穏やかな糖質制限食について 郡山地区糖尿病学術講演会(福島)2014. 9. 4

清水清香、泉 妃咲 産業衛生談話会「脂肪肝の食事療法」 2014. 10. 3

中島千鹿子、内田淳一 骨粗鬆症の予防と食事 ロコモ教室(東京)2014. 11. 10

中島千鹿子、内田淳一 薬膳料理講習会～冬の薬膳～ 薬膳講習会(東京)2014. 12. 6

関 初穂、泉 妃咲 介護のための料理教室 2015. 3. 13

[その他ーその他]

関 初穂 看護部新人フォローアップ研修 口腔ケアについて 2014. 4. 30

内田淳一 治療食の総論と各論（総論） 日本給食サービス研修会(東京)2014. 5. 17

内田淳一 入院患者における栄養管理（東京）2014. 5. 19

関 初穂 言語聴覚療法概論Ⅰ 成人の臨床について（神奈川）2014. 6. 11

内田淳一 治療食の総論と各論（各論） 日本給食サービス研修会(東京)2014. 6. 14

中島千鹿子、内田淳一 薬膳料理講習会 薬膳料理講習会 2014. 7. 5

中島千鹿子、内田淳一 がん治療中の食事について 教育講演 2014. 9. 18

内田淳一 病院における管理栄養士業務 北里大学保健衛生専門学院白金キャンパス  
見学会(東京)2014. 9. 18

安富蔵人、島田 恵、馬場彰泰、小杉理恵、赤石 誠 Small Heart 患者における新規  
心筋 SPECT 解析ソフトウェアを用いた心機能解析の有用性 第10回北里研究所病院研  
究発表会(東京)2014. 12. 8

安富蔵人 診療画像技術学Ⅱ Medical Imaging Technology II 平成26年度 北里大  
学医療衛生学部医療工学科 第2学年後期科目 診療画像技術学Ⅱ(神奈川)2014. 12. 9

## 整形外科

[学術論文—その他]

Kawaguchi Y, Matsumoto M, Iwasaki M, Izumi T, Okawa A, Matsunaga S, Chiba K, Tsuji T, Yamazaki M, Fujimori T, Yoshii T, Toyama Y New classification system for ossification of the posterior longitudinal ligament using CT images. J Orthop Sci. 19(4):530-536 2014.7.1

Nakajima M, Takahashi A, Tsuji T, Karasugi T, Baba H, Uchida K, Kawabata S, Okawa A, Shindo S, Takeuchi K, Taniguchi Y, Maeda S, Kashii M, Seichi A, Nakajima H, Kawaguchi Y, Fujibayashi S, Takahata M, Tanaka T, Watanabe K, Kida K, Kanchiku T, Ito Z, Mori K, Kaito T, Kobayashi S, Yamada K, Takahashi M, Chiba K, Matsumoto M, Furukawa K, Kubo M, Toyama Y; Genetic Study Group of Investigation Committee on Ossification of the Spinal Ligaments, Ikegawa S A genome-wide association study identifies susceptibility loci for ossification of the posterior longitudinal ligament of the spine. Nat Genet. 46 (9) :1012-1016 2014.9.1

辻 崇、戸山芳昭 骨・関節疾患におけるゲノム医学の進歩 後縦靭帯骨化症のゲノム解析 整形・災害外科 57:1449-1453 2014.10.1

辻 崇 知っておきたい疾患特有の所見と判別テスト Orthopaedics 27 (11) :1-6 2014.10.1

Nakayama R, Horiuchi K, Susa M, Watanabe I, Watanabe K, Tsuji T, Matsumoto M, Toyama Y, Morioka H Clinical outcome after bone metastasis (BM) surgery in patients with differentiated thyroid carcinoma (DTC): a retrospective study of 40cases. Jpn J Clin Oncol. 44 (10) :918-925 2014.10.1

[学会発表—シンポジウム, パネル]

辻 崇、長島正樹、千葉一裕、阿部 均 スポーツ選手の椎間板変性と腰痛のリスクファクターについて 2年間の前向き研究の結果より 第40回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会(東京)2014.9.12

[その他—公開講座]

辻 崇 腰痛診療の up to date-腰痛ガイドラインを踏まえて セレコックス学術講演会(東京)2014.11.6

## 内科

[学術論文－学会誌]

Inokuchi-Shimizu S, Park EJ, Roh YS, Yang L, Zhang B, Song J, Liang S, Pimienta M, Taniguchi K, Wu X, Asahina K, Lagakos W, Mackey MR, Akira S, Ellisman MH, Sears DD, Olefsky JM, Karin M, Brenner DA, Seki E TAK1-mediated autophagy and fatty acid oxidation prevent hepatosteatosis and tumorigenesis. *Journal of Clinical Investigation* 124(8):3566-3578 2014. 8. 1

Yoneyama H, Takizawa-Hashimoto A, Takeuchi O, Watanabe Y, Atsuda K, Asanuma F, Yamada Y, Suzuki Y Acquired resistance to gemcitabine and cross-resistance in human pancreatic cancer clones *Anticancer Drugs* 26:90-100 2015. 1. 1

[学術論文－その他]

熊谷直樹、森永正二郎、清水清香、常松 令、土本寛二 検査値の読み方 高IgG血症を伴わない自己免疫性肝炎の治療と臨床経過(解説) *臨床消化器内科* 29 巻 11号:1529-1534 2014. 9. 1

赤石 誠、廣江道昭、羽田勝征、鈴木真事、椿原美治、秋澤忠男、鳥崎竜太郎 保存器慢性腎臓病患者の貧血改善が左室肥大に及ぼす影響—tHuEPO 製剤を対照としたダルベポエチンアルファの他施設共同ランダム化比較試験。 *腎と透析* 77 : :675-684 2014. 9. 1

[学術論文－症例報告書]

常松 令、清水清香、熊谷直樹、土本寛二 検査値の読み方 感染後遷延し抗ウイルス療法施行により2年後にHBs抗体陽性となったHBVゲノタイプA肝炎の1症例(原著論文/症例報告) *臨床消化器内科* 29 巻 5号:622-626 2014. 4. 1

三宅 麗、筋野智久、小林 拓、加藤裕佳子、中野 雅、芹澤 宏、渡辺憲明、土本寛二、末森友浩、森永正二郎、日比紀文 内視鏡像の変化を観察可能であった原発性胃アミロイドーシスの1例 *Progress of Digestive Endoscopy* 84:88-89 2014. 6. 1

佐々木賢一、芹澤 宏、中野 雅、加藤裕佳子、小林 拓、清水清香、常松 令、渡辺憲明、土本寛二、日比紀文、末森友浩、森永正二郎 大腸内視鏡検査で偶然発見された無症候性アニサキス症の1例 *Progress of Digestive Endoscopy* 84:104-105 2014. 12. 1

[学術論文－総説]

鈴木幸男 呼吸器感染症と肺結核症 糖尿病診療マスター 12:331-334 2014. 4. 15

[学術論文－講座]

赤石 誠 【心房細動に伴う心原性脳塞栓症】 心房細動における血栓形成と塞栓症リスク(解説/特集) 神経内科 (0386-9709) 82 巻 1 号:Page98-104(2015. 01) 2015. 3. 1

[著書－学術書]

赤石 誠、北風政史 循環器レビュー&トピックス 臨床医が知っておくべき 27 の最新知見。 循環器レビュー&トピックス編集・監修 医学書院 2014 2014. 4. 1

赤石 誠 気分障害 和泉 徹監修、東條美奈子編集 この症状を見逃さない 戦略的循環器疾患の診かた分担執筆 :196-205, 2014. 4. 1

赤石 誠 失神 和泉 徹監修、東條美奈子編集 この症状を見逃さない 戦略的循環器疾患の診かた 南山堂:104-113, 2014. 4. 1

鈴木幸男 化学物質過敏症 禁煙学 改訂 3 版 分担執筆 :85-89 2014. 11. 20

赤石 誠 悪性リンパ腫・白血病 心エコーハンドブック 心筋心膜疾患編集 竹中克、戸出浩之 分担執筆 :87-96 2014. 12. 1

鈴木幸男 呼吸器疾患患者に投与するときの注意 一冊できわめるステロイド診療ガイド 分担執筆 :72-82 2015. 3. 10

[著書－その他]

島田 恵 循環器の重要疾患患者さんのあのサインに気付く先取りテクニック「感染性心内膜炎による大動脈弁逆流」 ハートナーシング 分担執筆 28 (3) :46-50  
2015. 3. 1

[学会発表－一般講演]

島田 恵、小杉理恵、馬場彰泰、高橋路子、小平まさみ、木村さゆり、山田洋子、林 規隆、赤石 誠 心不全患者におけるリアルタイム 3 次元心エコー図法を用いた心機能評価の有用性～心筋シンチグラムとの比較による検討～ 第 25 回日本心エコー図学会(石川)2014. 4. 18



島田 恵 不整脈源性右室心筋症診断における心エコー図検査の有用性 第87回日本超音波医学会学術集会(東京)2014. 5. 9

梅田智子、小林 拓、筋野智久、加藤裕佳子、清水清香、中野 雅、常松 令、芹澤 宏、渡辺憲明、土本寛二、日比紀文 内視鏡的に特徴的な所見を観察しえた重症腸チフスの1例 第87回日本消化器内視鏡学会総会(福岡)2014. 5. 15

佐々木賢一、芹澤 宏、中野 雅、加藤裕佳子、清水清香、小林 拓、渡辺憲明、土本寛二、日比紀文、末森友浩、森永正二郎 消化管ポリポーシスフォロー内視鏡の際偶然発見された無症候性アニサキス症の1例 第98回日本消化器内視鏡学会関東地方会(東京)2014. 6. 14

芹澤 宏、斉藤義正、加藤裕佳子、中野 雅、中村正彦、鈴木秀和、金井隆典 当院における「ピロリ菌」外来の将来的意義 第20回日本ヘリコバクター学会(東京)2014. 6. 28

古山恵理、清水清香、山田 悟、加藤裕佳子、小林 拓、中野 雅、樋口 肇、芹澤 宏、渡辺憲明、土本寛二、森永正二郎、常松 令 Hepatocyte nuclear factor 1 $\alpha$  (HNF1 $\alpha$ )不活化型の多発肝細胞腺腫を発症した Maturity-Onset Diabetes of the Young (MODY)3 の一例 日本消化器病学会 関東支部例会(東京)2014. 7. 26

森川 淳、小林 拓、筋野智久、中野 雅、加藤裕佳子、梅田智子、芹澤 宏、渡辺憲明、清水清香、日比紀文 広汎な小腸病変をきたした潰瘍性大腸炎の一例 第331回日本消化器病学会関東地方会(東京)2014. 9. 20

島田 恵、馬場彰泰、小杉理恵、赤石 誠 心不全を合併した頻拍性心房細動症例でのランジオロールとビソプロロール貼付剤併用療法の有用性 第62回日本心臓病学会(宮城)2014. 9. 27

安富蔵人、島田 恵、馬場彰泰、小杉理恵、赤石 誠 Small Heart 患者における新規心筋SPECT解析ソフトウェアを用いた心機能解析の有用性 第62回日本心臓病学会(宮城)2014. 9. 28

島田 恵、馬場彰泰、小杉理恵、赤石 誠 Effect of telmisartan on heart failure in patient with hypertensive cardiomyopathy 高血圧性心不全症例におけるテルミサ

ルタンの有効性 第18回日本心不全学会学術集会(大阪)2014.10.10

梅田智子、小林 拓、中野 雅、筋野智久、加藤裕佳子、芹澤 宏、渡辺憲明、森永正二郎、日比紀文 腸管スピロヘータ症の内視鏡的・臨床病理学的検討 第88回日本消化器内視鏡学会総会 (JDDW2014) (兵庫)2014.10.23

芹澤 宏、斉藤義正、加藤裕佳子、中野 雅、中村正彦、鈴木秀和、金井隆典  
Helicobacter pylori 感染性胃炎に対するエソメプラゾールを用いた一次除菌療法における CYP2C19 遺伝子多型の影響 第56回日本消化器病学会大会 (JDDW2014) (兵庫)2014.10.23

清水清香、泉 妃咲、中島千鹿子、内田淳一、熊谷直樹、土本寛二、山田 悟、常松 令  
非アルコール性脂肪肝疾患 (NAFLD) 患者に対する糖質制限食指導の試み 日本消化器病学会大会(兵庫)2014.10.24

島田 恵、原田厚子、芹澤 宏 心不全治療におけるトルバプタンの有効性の検証 第42回日本救急医学会(福岡)2014.10.28

安達英輔、児玉華子、清水清香、古川龍太郎、大亀路生、佐藤秀憲、菊地 正、古賀道子、中村仁美、杉山真也、溝上雅史、鯉渕智彦、岩本愛吉 HIV/HBV genotype G/Ae 共感染症例の治療経過 第28回日本エイズ学会学術集会・総会(大阪)2014.12.5

赤坂茉莉、清水清香、鈴木慶一、樋口 肇、梅田智子、三宅 麗、加藤裕佳子、小林 拓、中野 雅、常松 令、芹澤 宏、渡辺憲明、森永正二郎、日比紀文、土本寛二、金井隆典 閉塞性黄疸を契機に発見された Peutz-Jeghers 型十二指腸乳頭部過誤腫の一例 第99回日本消化器内視鏡学会関東地方会(東京)2014.12.6

クローン病遠位回腸検索における受動湾曲高挿入部搭載細径大腸内視鏡 PCF-PQ260L の有用性の検討 第99回日本消化器内視鏡学会関東地方会 (ワークショップ) (東京)2014.12.6

加藤麻由子、和田由加利、柴田順子、小林 拓、森 ただえ、石橋とよみ、中野 雅、芹澤 宏、日比紀文 炎症性腸疾患患者における高張性腸管洗浄剤 (モビブレップ®) の受容性、有効性、安全性の検討 第32回関東消化器内視鏡技師研究会(東京)2014.12.7

鈴木幸男 上手な禁煙指導法 港区薬剤師会禁煙セミナー(東京)2015. 2. 10

西 洋二、島田 恵、山田洋子、小平まさみ、木村さゆり、久壁直子、中谷桂子、鈴木奈津美、林 規隆、小杉理恵、馬場彰泰、高橋路子、赤石 誠 左室収縮機能の保たれた心不全(HFpEF)の心機能解析における TMAD 法の有用性 第 26 回日本心エコー図学会(福岡)2015. 3. 26

島田 恵、小杉理恵、工藤樹彦、馬場彰泰、高橋路子、岡本一真、志水秀行、赤石 誠 弁輪部膿瘍を合併した大動脈弁感染性心内膜炎の 2 例 第 26 回日本心エコー図学会(福岡)2015. 3. 27

[学会発表—特別講演]

島田 恵、小杉理恵、馬場彰泰、高橋路子、森永正二郎、赤石 誠 特別企画 一度は診ておきたい二次性心筋疾患 心サルコイドーシスの診断、治療における心エコーの活用と課題 本超音波医学会第 26 回関東甲信越地方会(東京)2014. 10. 19

[学会発表—シンポジウム, パネル]

島田 恵 他領域医師・技師に役立つ心エコー図 一般病院における心エコー(医師の立場から) 第 87 回日本超音波医学会学術集会シンポジウム 2014. 5. 11

鈴木幸男 肺換気/血流シンチグラフィを上手に使うコツ—内科医の立場から— 第 7 回呼吸機能イメージング研究会学術集会(東京)2015. 2. 8

[その他—公開講座]

鈴木幸男 COPD 薬物治療の新たな展開 三田地区学術講演会(東京)2014. 4. 15

島田 恵 水利尿薬を用いた心不全治療の新たなアプローチ 新規水利尿薬を考える会(東京)2014. 4. 22

島田 恵 “僧帽弁を識る”、僧帽弁の形態と動きを理解する 慶應心エコーカンファレンス 2014(東京)2014. 5. 31

島田 恵、小山卓史、馬場彰泰、小杉理恵、赤石 誠 虚血再灌流障害に対する乳酸付加ポストコンデイショニング治療の効果 西東京循環器ネットワーク(東京)2014. 6. 19

山田 悟、内田淳一 糖質制限食の栄養療法 つくし糖質制限セミナー(東京)2014. 7. 12

鈴木幸男 肺炎球菌ワクチンの最前線 仙台市医師会 宮城野・若林ブロック学術講演会(宮城)2014. 9. 11

鈴木幸男 肺炎球菌ワクチンの最前線 飯田肺炎球菌ワクチンフォーラム(長野)2014. 10. 17

鈴木幸男 肺がんを予防するために 港区市民公開講座(東京)2014. 10. 26

島田 恵 Goodpasture 症候群が疑われた肺腎症候群の一例 第15回Heart and Kidney Conference(東京)2014. 11. 4

鈴木幸男 肺炎球菌ワクチンの最前線 蒲田医師会学術講演会(東京)2014. 11. 7

鈴木幸男 肺炎球菌ワクチンの最前線 函館内科会学術講演会(北海道)2014. 11. 12

森川 淳、島田 恵、小杉理恵、工藤樹彦、馬場彰泰、高橋路子、岡本一真、志水秀行、赤石 誠 大動脈弁感染性心内膜炎の2例 第42回無侵襲心機能検査法研究会(東京)2015. 1. 10

島田 恵 心疾患患者における心筋 SPECT 解析ソフトを用いた左室同期不全評価 第50回心機能研究会(東京)2015. 1. 20

島田 恵 頻拍性心房細動症例における静注用 $\beta$ 遮断薬の使用経験 第5回港区救急医療連携懇話会(東京)2015. 1. 27

島田 恵 不整脈源性右室心筋症診断における心エコー図検査の有用性 第10回慶応心エコーカンファレンス(東京)2015. 2. 13

[その他ーその他]

島田 恵、竹内 修、柴崎七海、馬場彰泰、小杉理恵、赤石 誠 HUVEC を用いた虚血再灌流傷害疑似モデルにおける段階的アシドーシス改善による細胞傷害抑制効果の検討 第10回北里研究所病院研究発表会(東京)2014. 12. 8

鈴木幸男 呼吸状態のフィジカルアセスメント 平成 26 年度日本女性薬剤師会 東京  
都女性薬剤師会フィジカルアセスメント研修会(東京)2015. 1. 11

## 泌尿器科

### [学術論文—その他]

若田部陽司、入江 啓、望月康平、石井淳一郎、嶺井定嗣、渡邊達也、氏原 淳 前立腺癌アンドロゲン除去療法における骨密度・骨代謝に対する経口アレンドロネートの有用性の検討 泌尿器外科 27:1593-1599 2014. 9. 1

### [学術論文—症例報告書]

土橋正人、入江 啓、南田 諭、嶺井定嗣、石井淳一郎、高島力弥、門脇和臣、首村智久、森永正二郎 腎細胞癌腎臓局多発転移に対して腎全摘除術を施行し、長期無再発生存を得た1例 泌尿器外科 27:1689-1692 2014. 10. 1

### [学会発表—一般講演]

石井淳一郎、望月康平、黒坂眞二、土橋正人、大草 洋、嶺井定嗣、立花貴史、門脇和臣、高橋裕一郎、杉田 敦、高嶋力弥、平野修平、入江 啓 腎尿管全摘術を施行した上部尿路上皮癌の予後因子に関する検討 第102回日本泌尿器科学会総会(兵庫)2014. 4. 24

立花貴史、入江 啓、石井淳一郎、嶺井定嗣、高嶋力弥、高橋裕一郎、門脇和臣 根治術を施行した active surveillance 適格前立腺癌症例の臨床・病理学的検討 第102回日本泌尿器科学会総会(兵庫)2014. 4. 26

立花貴史、入江 啓、石井淳一郎、嶺井定嗣、高嶋力弥、高橋裕一郎、門脇和臣、森永正二郎 前立腺肥大症に対して HoLEP を施行し、切除検体の病理学的所見にて STUMP と診断された症例 第615回 日本泌尿器科学会東京地方会(東京)2014. 6. 21

石井淳一郎、立花貴史、山下英之、嶺井定嗣、平野修平、本田智嗣、門脇和臣、高橋裕一郎、高嶋力弥、入江 啓 腎盂尿管鏡検査が腎尿管全摘術に及ぼす影響についての検討 第28回日本泌尿器内視鏡学会総会(福岡)2014. 11. 27

Mochizuki K, Matsumoto K, Minami S, Tabata K, Fujita T, Irie A, Yoshida K, Sato T, Iwamura M Detection of tumor-associated antigens in culture supernatants using autoantibodies in sera from patients with bladder cancer. 30th Congress of European Association of Urology2015. 3. 23

Matsumoto K, Hirayama T, Ikeda M, Nishi M, Tsumura H, Fujita T, Irie A, Yoshida K, Sato T, Iwamura M Loss of periplakin expression is associated with

pathological stage and cancer-specific survival in patients with urothelial carcinoma of the urinary bladder. 30th Congress of European Association of Urology. 2015. 3. 23

Hirayama T, Matsumoto K, Sugita Y, Nishi M, Tabata K, Fujita T, Irie A, Shitara T, Iwamura M Incidence and outcomes of prostate cancer following holmium laser enucleation of the prostate 30th Congress of European Association of Urology 2015. 3. 23

## 婦人科

[学術論文－学会誌]

杉本 到、牧田和也、横田めぐみ、堀場裕子、岩田 卓、小川真里子、弟子丸亮太、柳本茂久、高松 潔、青木大輔 Patient Health Questionnaire (PHQ)-9 への記入結果からみた当科「健康維持外来」初診患者におけるうつ病性障害の現状 更年期と加齢のヘルスケア学会雑誌 13:291-298 2015. 2. 1

[学会発表－一般講演]

杉本 到、櫻井友義、木挽貢慈、嶺井定嗣 水腎症により発見された尿管子宮内膜症の一例 第 54 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会(鹿児島)2014. 9. 11

櫻井友義、木挽貢慈、杉本 到 腹腔鏡下子宮全摘術後に悪性度不定の平滑筋腫瘍(STUMP)と診断に苦慮した一例 第 54 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会(鹿児島)2014. 9. 11

杉本 到、牧田和也、平沢 晃、高松 潔、青木大輔 婦人科更年期外来受診者の腰椎骨密度値の時代による変化 第 16 回日本骨粗鬆症学会学術講演会(東京)2014. 10. 23



## 麻酔科

[学術論文－講座]

柏木政憲 【30周年特別企画 まずには知らなきゃ！手術室の薬剤マストポイント】昇  
圧薬・降圧薬の基礎知識 オペナーシング 30(3)：折込み付録 2015.3.1

[学会発表－一般講演]

柏木政憲、西脇千恵美、増田祐也、伊藤千裕、薄井健介、松原 肇 婦人科腹腔鏡患者  
の不安・抑うつが患者自己調節鎮痛の使用状況と満足度に与える影響 日本麻酔科学会  
第61回学術集会(神奈川)2014.5.15

## 薬剤部

[学術論文—学会誌]

S Shibata, H Takahashi, N Ono, N Wada, H Kubo, K Shinozaki, H Saito, N Inamoto, M Machida, K Atsuda and H Echizen Longitudinal monitoring of CYP3A activity in patients receiving 3 cycles of itraconazole pulse therapy for onychomycosis. Journal of Clinical Pharmacy and Therapeutics 39 (2) :181-185 2014.4.1

[学会発表—一般講演]

柴田壮一、竹下 啓、馬場彰泰、松原 肇、高橋晴美、越前宏俊 ワルファリン (WF) とリファンピシンの併用症例における WF 投与量と CYP2C9 および CYP3A 活性の変動 第 31 回日本 TDM 学会・学術大会 2014 年(東京)2014.6.1

松原 肇 (薬剤部・薬学部)、小林義和 (薬剤部)、藤岡貴光 (薬剤部)、阿部真也 (薬剤部) 抗菌薬使用届出制変更による抗菌薬使用の変化に関する調査 第 24 回日本医療薬学会年会(愛知)2014.9.27

## IBD センター

### [学術賞－学術賞]

小林 拓 Discinct Abstract Award at 2nd AOCC (Asian Organization for Crohn`s and Colitis) 2014. 6. 20

### [学術論文－学会誌]

Steinbach EC, Kobayashi T, Russo SM, Sheikh SZ, Gipson G, Kennedy S, Uno JK, Mishima Y, Borst LB, Liu B, Herfarth H, Ting J, Sartor RB, Plevy SE Innate PI3K p110  $\delta$  regulates Th1/Th17 development and microbiota-dependent colitis. The Journal of Immunology 192 (8) :3958-3968 2014. 4. 1

Usui S, Hosoe N, Matsuoka K, Kobayashi T, Nakano M, Naganuma M, Ishibashi Y, Kimura K, Yoneno K, Kashiwagi K, Hisamatsu T, Inoue N, Serizawa H, Hibi T, Ogata H, Kanai T Modified bowel preparation regimen for use in second-generation colon capsule endoscopy in patients with ulcerative colitis. Digestive Endoscopy 26 (5) :665-72 2014. 9. 1

Yokoyama Y\*, Matsuoka K\*, Kobayashi T\*[\*First authorship shared], Sawada K, Fujiyoshi T, Ando T, Ohnishi Y, Ishida T, Oka M, Yamada M, Nakamura T, Ino T, Numata T, Aoki H, Sakou J, Kusada M, Maekawa T, Hibi T A large-scale, prospective, observational study of leukocytapheresis for ulcerative colitis: Treatment outcomes of 847 patients in clinical practice. Journal of Crohn`s and Colitis 8(9):981-991 2014. 9. 1

### [学術論文－その他]

Sugiyama K, Ebinuma H, Nakamoto N, Sakasegawa N, Murakami Y, Chu PS, Usui S, Ishibashi Y, Wakayama Y, Taniki N, Murata H, Saito Y, Fukasawa M, Saito K, Yamagishi Y, Wakita T, Takaku H, Hibi T, Saito H, Kanai T Prominent steatosis with hypermetabolism of the cell line permissive for years of infection with hepatitis C virus PLoS One 9(4):e94460 2014. 4. 9

Yoneko K, Hisamatsu T, Matsuoka K, Okamoto S, Takayama T, Ichikawa R, Sujino T, Miyoshi J, Takabayashi K, Mikami Y, Mizuno S, Wada Y, Yajima T, Naganuma M, Inoue N, Iwao Y, Ogata H, Hasegawa H, Kitagawa Y, Hibi T, Kanai T Risk and management of intra-abdominal abscess in Crohn`s disease treated with infliximab Digestion

89(3):201-8 2014.5.1

Kobayashi T, Hibi T Ulcerative colitis. Which makes patients happier, surgery or anti-TNF therapy? *Nat Rev Gastroenterol Hepatol* 11(5):272-3 2014.5.1

Suzuki H, Mathuzaki J, Fukushima Y, Suzaki F, Kasugai K, Nishizawa T, Naito Y, Hayakawa T, Kamiya T, Andoh T, Yoshida H, Tokura Y, Nagata H, Kobayakawa M, Mori M, Kato K, Hosoda H, Takebayashi T, Miura S, Uemura N, Joh T, Hibi T Tack J;Rikkunshito study group Randomized clinical trial :rikkunshito in the treatment of functional dyspepsia --amulticenter, double-blind , randomized, placebo-controlled study *Neurogastroenterol Motil* 26(7):950-61 2014.7.1

Tomita K, Teratani T, Suzuki T, Shimizu M, Sato H, Narimatsu K, Usui S, Furuhashi H, Kimura A, Nishiyama K, Maejima T, Okada Y, Kurihara C, Shimamura K, Ebinuma H, Saito H, Yokoyama H, Watanabe C, Komoto S, Nagao S, Sugiyama K, Aosasa S, Hatsuse K, Yamamoto J, Hibi T, Miura S, Hokari R, Kanai T Acyl-CoA:cholesterol acyltransferase 1 mediates liver fibrosis by regulating free cholesterol accumulation in hepatic stellate cells *J Hepatol* 61(1):98-106 2014.7.1

Usui S, Hosoe N, Matsuoka K, Kobayashi T, Nakano M, Naganuma M, Ishibashi Y, Kimura K, Yoneno K, Kashiwagi K, Hisamatsu T, Inoue N, Serizawa H, Hibi T, Ogata H, Kanai T Modified bowel preparation regimen for use in second-generation colon capsule endoscopy in patients with ulcerative colitis. *Dig Endosc* 26(5):665-72 2014.9.1

Yokoyama Y, Matsuoka K, Kobayashi T, Sawada K, Fujiyoshi T, Ando T, Ohnishi Y, Ishida T, Oka M, Yamada M, Nakamura T, Ino T, Numata T, Aoki H, Sakou J, Kusada M, Maekawa T, Hibi T A large-scale, prospective, observational study of leukocytapheresis for ulcerative colitis: treatment outcomes of 847 patients in clinical practice. *J Crohns Colitis* 8(9):981-91 2014.9.1

Fukata N, Okazaki K, Omiya M, Matsushita M, Watanabe M;Members of the Ministry of Health and Welfare of Japan's Inflammatory Bowel Diseases Study Group Hematologic malignancies in the Japanese patients with inflammatory bowel disease. *J Gastroentero* 49(9):1299-306 2014.9.1

Miyoshi J, Hisamatsu T, Matsuoka K, Naganuma M, Maruyama Y, Yoneno K, Mori K, Kiyohara H, Nanki K, Okamoto S, Yajima T, Iwao Y, Ogata H, Hibi T, Kanai T Early intervention with adalimumab may contribute to favorable clinical efficacy in patients with Crohn's disease. *Digestion* 90(2):130-6 2014.10.1

Ohfuji S, Fukushima W, Watanabe K, Sasaki S, Yamagami H, Nagahori M, Watanabe M, Hirota Y; Japanese Case-Control Study Group for Ulcerative Colitis Pre-illness isoflavone consumption and disease risk of ulcerative colitis: a multicenter case-control study in Japan. *PLoS One* 9(10):e110270 2014.10.14

Watanabe M, Hibi T, Mostafa NM, Chao J, Arora V, Camez A, Petersson J, Thakkar R Long-term safety and efficacy of adalimumab in Japanese patients with moderate to severe Crohn's disease *J Crohns Colitis* 8(11):1407-16 2014.11.1

Hirofumi Imaeda, Naoki Hosoe, Kazuhiro Kashiwagi, Yosuke Ida, Rieko Nakamura, Hidekazu Suzuki, Yoshimasa Saito, Naohisa Yahagi, Yasushi Iwao, Yuko Kitagawa, Toshifumi Hibi, Haruhiko Ogata, Takanori Kanai Surveillance using trimodal imaging endoscopy after endoscopic submucosal dissection for superficial gastric neoplasia *World Journal of Gastroenterology* 20(43):16311-7 2014.11.21

Imaeda H, Hosoe N, Kashiwagi K, Ida Y, Nakamura R, Suzuki H, Saito Y, Yahagi N, Iwao Y, Kitagawa Y, Hibi T, Ogata H, Kanai T Surveillance using trimodal imaging endoscopy after endoscopic submucosal dissection for superficial gastric neoplasia *World J Gastroenterol* 20(43):16311-7 2014.11.21

Nakamura M, Takahashi T, Matsui H, Baniwa Y, Takahashi S, Murayama SY, Serizawa H, Suzuki H, Hibi T Alteration of angiogenesis in *Helicobacter heilmannii*-induced mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma: interaction with c-Met and hepatocyte growth factor. *J Gastroenterol Hepatol* 29 Suppl 4:70-6. 2014.12.29

Wada Y, Hisamatsu T, Naganuma M, Matsuoka K, Okamoto S, Inoue N, Yajima T, Kouyama K, Iwao Y, Ogata H, Hibi T, Abe T, Kanai T Risk factors for decreased bone mineral density in inflammatory bowel disease: A cross-sectional study. *Clin Nutr* 34(1):13-19 pii:S0261-5614(15)00008-4 2015.1.13

Sato H, Tomita K, Yasue C, Umeda R, Ebinuma H, Ogata S, Du W, Soga S, Maruta K, Yasutake Y, Narimatsu K, Usui S, Watanabe C, Komoto S, Teratani T, Suzuki T, Yokoyama H, Saito H, Nagao S, Hibi T, Miura S, Kanai T, Hokari R Pregnant woman with non-comatose autoimmune acute liver failure in the second trimester rescued using medical therapy:A case report Hepatol Res 45(3):349-55 2015. 3. 1

Sakuraba A, Okamoto S, Matsuoka K, Sato T, Naganuma M, Hisamatsu T, Iwao Y, Ogata H, Kanai T, Hibi T Combination therapy with infliximab and thiopurine compared to infliximab monotherapy in maintaining remission of postoperative Crohn' s disease. Digestion 91(3):233-8 2015. 3. 1

Ooi CJ, Hilmi I, Makharia GK, Gicson PR, Fock KM, Ahuja V, Ling KL, Lim WC, Thia KT, Wei SC, Leung WK, Koh PK, Gearry RB, Goh KL, Ouyang Q, Sollano J, Manatsathit S, de Silva HJ, Rerknimitr R, Pisespongsa P, Abu Hassan MR, Sung J, Hibi T, Boey CC, Moran N, Leong RW:Asia Pacific Association of Gastroenterology (APAGE) Working Group on Inflammatory Bowel Disease The Asia Pacific Consensus Statements on Crohn' n Disease Part2:Management. J Gastroenterol Hepatol 2015. 3. 25

Ooi CJ, Hilmi I, Makharia GK, Gicson PR, Fock KM, Ahuja V, Ling KL, Lim WC, Thia KT, Wei SC, Leung WK, Koh PK, Gearry RB, Goh KL, Ouyang Q, Sollano J, Manatsathit S, de Silva HJ, Rerknimitr R, Pisespongsa P, Abu Hassan MR, Sung J, Hibi T, Boey CC, Moran N, Leong RW;Asia Pacific Association of Gastroenterology (APAGE) Working Group on Inflammatory Bowel Disease The Asia Pacific Consensus Statements on Crohn' n Disease Part1:definition, diagnosis and epidemiology. J Gastroenterol Hepatol 2015. 3. 25

[学術論文—総説]

日比紀文、小林 拓、中野 雅 内科疾患 最新の治療 明日への指針(第2章) 消化器潰瘍性大腸炎 臨床雑誌 内科 113 (6) :1059-1061 2014. 6. 1

小林 拓 潰瘍性大腸炎とクローン病は何がどう違うのか (1) 免疫学的違いは? Medicina 51 (6) :1004-1007 2014. 6. 1

日比紀文、小林 拓、中野 雅、渡辺憲明 直腸投与製剤 これまで集積されたノウハウと薬物治療の最前線 エキスパートに学ぶ!薬物治療における直腸投与製剤の位置づ

けと活用のポイント 潰瘍性大腸炎(解説/特集) 薬局 65 (9) :2426-2430 2014. 8. 1

日比紀文、小林 拓、中野 雅 生物学的製剤の適応があるリウマチ類縁疾患 炎症性腸疾患(解説/特集) Rheumatology Clinical Research 3(2):78-82 2014. 8. 1

小林 拓、岩男 泰、下田将之、長沼 誠、金井隆典、内 野基、池内裕基、杉野吉則  
内視鏡的に遡及的検討が可能であった潰瘍性大腸炎合併大腸粘膜内腫瘍の1例. 胃と腸 49 (10) :1511-1516 2014. 9. 1

岩男 泰、下田将之、杉野吉則、浦岡俊夫、吉田諭史、井上 詠、小林 拓、松岡克善、  
長沼 誠、久松理一、緒方晴彦、金井隆典、長谷川博俊、三上修治、亀山香織、八尾隆  
史 内視鏡検査からみた colitic cancer の初期病変-拡大内視鏡所見を中心に- 胃と腸 49 (10) :1464-1478 2014. 9. 1

日比紀文、久松理一、小林 拓、中野 雅、井上 詠 特集 希少消化器疾患に対する  
萌芽的研究の最前線 腸管ベーチェット病と単純性潰瘍の診断法や治療法は確立した  
か? 分子消化器病 12 (1) :43-48 2015. 2. 1

日比紀文、小林 拓、中野 雅、渡辺憲明 特集 炎症性腸疾患-病態研究から標的治  
療への展開-日本から世界に発信する新しい診断・治療 最新醫學 70 (2) :106-111  
2015. 2. 1

[学会発表—一般講演]

小林 拓、松岡克善、Scott E. Plevy NFIL3 欠損マウスにおける自然発症腸炎の免疫  
学的発症機序 第100回日本消化器病学会総会(東京)2014. 4. 26

中野 雅、小林 拓、筋野智久、加藤裕佳子、芹澤 宏、渡辺憲明、日比紀文、中里圭  
宏 遠位回腸検索における受動湾曲高伝達挿入部搭載細径大腸内視鏡PCF-PQ260 Lの有  
用性の検討 第87回日本消化器内視鏡学会総会(福岡)2014. 5. 15

小林 拓、長沼 誠、久松理一、松岡克善、中野 雅、緒方晴彦、日比紀文、金井隆典  
クローン病狭窄病変に対する内視鏡的バルーン拡張術の短期・長期成績 第87回日本  
消化器内視鏡学会総会(福岡)2014. 5. 16

Kobayashi T, Nakano M, Serizawa H, Watanabe N, Takeuchi O, Kuronuma S, Hibi T,  
Center for Advanced IBD Research and Treatment, Kitasato University Kitasato

Institute Hospital Usefulness of fecal S100A12 in defining mucosal healing in ulcerative colitis AOCC20152014. 6. 19

Nakano M, Kobayashi T, Nakazato Y, Sujino T, Umeda S, Serizawa H, Watanabe N, and Hibi T, Center for Advanced IBD Research and Treatment, Kitasato University Kitasato Institute Hospital Division of Gastroenterology and Hepatology, Department of Internal Medicine, School of Medicine, Keio University Evaluation of availability for distal ileum surveillance during a standard conventional colonoscopy using a long type ultra-slim design colonoscope (PCF-PQ260L) in Crohn's disease AOCC20152014. 6. 19

Kato M, Kobayashi T, Wada Y, Mori T, Shibata J, Nakano M, Serizawa H, Naganuma M, Ishibashi T, Umeda S, Watanabe N, Hibi T, Center for Diagnostic and Therapeutic Endoscopy, Kitasato University Kitasato Institute Hospital, Center for Advanced IBD Research and Treatment, Kitasato University Kitasato Institute Hospital, Center for Diagnostic and Therapeutic Endoscopy, Keio University Hospital Acceptability, efficacy and safety of hypertonic polyethylene glycol (MoviPrep) as a bowel preparation of colonoscopy in patients with inflammatory bowel disease AOCC20152014. 6. 19

Taku Kobayashi\*, Katsuyoshi Matsuoka, Yoko Yokoyama, Koji Sawada, Tateshi Fujiyoshi, Takafumi Ando, Yoshifumi Ohnishi, Tetsuya Ishida, Masashi Oka, Masahiro Yamada, Takashi Nakamura, Tomoko Ino, Toyoko Numata, Hirofumi Aoki, Jun-ichi Sakou, Masahiro Kusada, Tomoki Maekawa, and Toshifumi Hibi A large-scale, prospective, observational study of leukocytapheresis for ulcerative colitis: Treatment outcomes of 847 patients in clinical practice. 2nd AOCC2014. 6. 20

小林 拓、松岡克善、竹内 修、日比紀文、Scott Plevy 炎症性腸疾患感受性遺伝子 NFIL3 欠損マウスは自然免疫異常を介し腸炎を自然発症する 第 51 回消化器免疫学会総会(京都)2014. 7. 11

細江直樹、中野 雅、南木康作、三枝慶一郎、碓井真吾、筋野智久、小林 拓、松岡克善、長沼 誠、久松理一、井上 詠、芹澤 宏、日比紀文、金井隆典、緒方晴彦 潰瘍性大腸炎患者に対するクエン酸モサプリドを用いた大腸カプセル内視鏡前処置法 第



32 回日本大腸検査学会総会(東京)2014. 9. 16

小林 拓 炎症性腸疾患感受性遺伝子 NFIL3 の機能とその欠損マウスにおける腸炎の発症機序解明 第 42 回日本臨床免疫学会総会(東京)2014. 9. 25

石橋とよみ、小林 拓、渡辺由紀、中野 雅、梅田智子、加藤裕佳子、芹澤 宏、渡辺憲明、日比紀文 潰瘍性大腸炎入院治療における禁食腸管安静の意義 第 11 回日本在宅静脈経腸栄養研究会学術集会(東京)2014. 10. 4

小林 拓、松岡克善、横山陽子、澤田康史、藤好建史、安藤貴文、大西佳文、石田哲也、岡 政志、山田雅弘、中村隆志、井野友子、日比紀文 潰瘍性大腸炎 847 例を対象とした白血球除去療法の大規模使用成績調査 JDDW2014(兵庫)2014. 10. 23

小林 拓、松岡克善、横山陽子、日比紀文 潰瘍性大腸炎 847 例を対象とした白血球除去療法の大規模使用成績調査 第 69 回大腸肛門病学会総会(神奈川)2014. 11. 7

中野 雅、小林 拓、梅田智子、芹澤宏、渡辺憲明、日比紀文、中里圭宏 遠位回腸検索における受動湾曲高伝達挿入部搭載細径大腸内視鏡 PCF-PQ260L の有用性の検討 第 52 回小腸研究会(東京)2014. 11. 15

中野 雅、小林 拓、梅田智子、樋口 肇、清水清香、常松 怜、芹澤 宏、渡辺憲明、土本寛二、日比紀文、中里圭宏 クロウン病遠位回腸検索における受動湾曲高伝達挿入部搭載細径大腸内視鏡 PCF-PQ260L の有用性の検討 第 99 回日本消化器内視鏡学会関東地方会(東京)2014. 12. 7

梅田智子、小林 拓、中野 雅、芹澤 宏、渡邊憲明、石橋とよみ、鈴木幸男、日比紀文 当院における炎症性腸疾患に対する免疫調節薬使用の実態 第 6 回日本炎症性腸疾患研究会学術集会(東京)2014. 12. 14

森川 淳、小林 拓、筋野智久、中野 雅、梅田智子、芹澤 宏、渡邊憲明、日比紀文 広汎な小腸病変を合併した潰瘍性大腸炎の一例 第 6 回日本炎症性腸疾患研究会学術集会(東京)2014. 12. 14

加藤麻由子、小林 拓、和田由加利、森 ただえ、柴田順子、中野 雅、芹澤 宏、長沼 誠、石橋とよみ、梅田智子、渡邊憲明、日比紀文 炎症性腸疾患患者におけるモビプレップの受容性、有効性、安全性の検討 第 6 回日本炎症性腸疾患研究会学術集会(東

京)2014. 12. 14

日比紀文、渡辺 守 難病克服に向けた新しい消化管再生医療 第11回日本消化管学会総会学術集会(東京)2015. 2. 13

小林 拓、中野 雅、梅田智子、芹澤 宏、渡辺憲明、黒沼 智、竹内 修、日比紀文 潰瘍性大腸炎粘膜治癒評価における便中 S100A12 の有用性 第11回日本消化管学会総会学術集会(東京)2015. 2. 13

梅田智子、小林 拓、中野 雅、常松 令、芹澤 宏、渡辺憲明、日比紀文 当院における炎症性腸疾患に対するチオプリン製剤使用の実態 第11回日本消化管学会総会学術集会(東京)2015. 2. 14

細江直樹、宮永亮一、三枝慶一郎、小林 拓、中野 雅、長沼 誠、日比紀文、金井隆典、緒方晴彦 潰瘍性大腸炎患者に対する大腸カプセル内視鏡前処置の工夫(クエン酸モサプリドの効果) 第8回日本カプセル内視鏡学会学術集会(東京)2015. 2. 15

樋口和秀、日比紀文、藤山佳秀、松井敏幸、伊藤文生 大腸カプセル内視鏡使用経験に関する国内アンケート調査の結果報告-日本カプセル内視鏡学会保険委員会より 第8回日本カプセル内視鏡学会学術集会(東京)2015. 2. 15

[学会発表-特別講演]

小林 拓 ランチョンセミナー「潰瘍性大腸炎のモニタリングと治療の最適化」 第99回日本消化器内視鏡学会関東地方会(東京)2014. 12. 7

小林 拓 IBD 診療の基本「治療編」 第6回日本炎症性腸疾患研究会学術集会(東京)2014. 12. 14

[学会発表-その他]

小林 拓 NFIL3 deficient mice develop IL-12/23 driven spontaneous colitis GI Research Academy 20142014. 6. 6

[その他-その他の文筆活動]

小林 拓 University of North Carolina での研究生生活 GI Research 22(2) 2014. 4. 1

小林 拓 2. 各治療の最適化とコツ-治療薬を使いこなす「シクロスポリン(CSA)・タクロリムス(TAC)」 実践！IBD診療 2014.5.1

## バイオメディカルリサーチセンター

[学術論文—学会誌]

渡邊達也、成川 衛 医療機関の薬剤部門における使用成績調査業務への関与に関するアンケート調査 医療薬学 40(9):507-514 2014. 9. 10

Yoneyama H, Takizawa-Hashimoto A, Takeuchi O, Watanabe Y, Atsuta K, Asanuma F, Yamada Y, Suzuki Y Acquired Resistance to gemcitabine and cross-resistance in human pancreatic cancer clones Anti-Cancer Drugs 26(1):90-100 2015. 1. 1

飯島 肇、福嶋邦昭、西脇真実子、佐橋邦彦、多賀政晴、茂貫洋子、関口寛子、熊谷好恵、片桐洋子、荒木祐介、豊田弘一、中谷比呂志、渡邊憲明 ヒトに対する電解水の安全性確認試験（手指） 臨床医薬 31(1):47-56 2015. 1. 31

渡邊達也、成川 衛 医薬情報担当者（MR）から見た医療機関における使用成績調査の実態に関するアンケート調査 医療薬学 41(2):57-65 2015. 2. 10

[学会発表—一般講演]

鈴木慶一、竹内 修、大作昌義、浅沼史樹、山田好則 Gemcitabine 耐性ヒト膵癌株に対する Metformin と Gemcitabine 併用療法の効果 第 114 回日本外科学会(京都)2014. 4. 5

Matthew Weiser, Chelsea Raulerson, Adam Robinson, Gregory Gipson, Tomohisa Sujino, Osamu Takeuchi, Taku Kobayashi, Hans H. Herfarth, Ryan B. Sartor, Dermot P. McGovern, Jason D. Lieb, Terrence S. Furey, Shehzad Z. Sheikh Genetically Driven Chromatin Organization Identifies Regulatory SNPs Associated with Crohn's Disease DDW 20142014. 5. 3

小林 拓、松岡克善、竹内 修、日比紀文、Scott Plevy 炎症性腸疾患感受性遺伝子 NFIL3 欠損マウスは自然免疫異常を介し腸炎を自然発症する 第 51 回日本消化器免疫学会総会(京都)2014. 7. 10

鈴木慶一、竹内 修、平田雄紀、金田宗久、大作昌義、浅沼史樹、山田好則 再発・切除不能肝細胞癌に対する 3 種人工抗原タンパク質を用いた樹状細胞ワクチン療法 第 52 回日本癌治療学会学術集会(神奈川)2014. 8. 28

加藤正臣、安富蔵人、渡邊達也、上之原由佳、桑又真由美、佐橋邦彦、坂本哲也、飯島肇、矢内原 久、山田好則 核医学製剤標識作業を必要とする第 I 相試験の経験から 第 14 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議 2014 in 浜松(静岡)2014. 10. 4

有田悦子、氏原 淳、加藤正臣、清水理桂子、北川誠樹、舊谷英子、太田 梓、青野寛之 CR0 の新人モニターを対象とした「研究倫理ワークショップ」の試み 第 14 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議 2014 in 浜松(静岡)2014. 10. 4

亀田有希子、山村誠子、幸田真由美、伊藤恵利奈、濱田かなえ、浅川美紀、福嶋邦昭、西脇真実子、渡邊達也、氏原 淳 治験審査委員会における審議資料電子化に向けた課題の検討と実践～誰もが出来る運用を目指して～ CRC と臨床試験のあり方を考える会議 2014 in 浜松(静岡)2014. 10. 4

荒川基記、濃沼政美、松岡悦子、水井貴詞、有田悦子、氏原 淳、松嶋由紀子、井上和紀、永田将司、塚田伸二、日高慎二、白神 誠 日本大学薬学部における治験教育への取り組み第 6 報 第 35 回 日本臨床薬理学会学術総会(愛媛)2014. 12. 4

有田悦子、氏原 淳、丁 元鎮、眞島喜幸、星 佳芳、渡邊達也、荒川基記、田代志門 臨床研究と日常診療の違い」を題材とした臨床研究倫理教育ワークショップの試み 第 35 回 日本臨床薬理学会学術総会(愛媛)2014. 12. 5

福嶋邦昭、中谷比呂志、中田靖子、玉野智子、白木文代、上之原由佳、西脇真実子、飯島 肇、藤島 浩 CAC 試験における眼誘発陽性率について 第 35 回 日本臨床薬理学会学術総会(愛媛)2014. 12. 5

西脇真実子、西村貴子、上之原由佳、杉浦麻衣、中西法子、山村誠子、亀田有希子、清水理桂子、渡邊達也、氏原 淳 治験薬の一元管理と効率的な治験薬調剤を目指して 日本臨床試験学会第 6 回学術集会総会(東京)2015. 2. 20

[学会発表ーシンポジウム, パネル]

氏原 淳 どうすれば定着するか? 治験終了後の被験者への情報提供 第 14 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議 2014 in 浜松(静岡)2014. 10. 4

[その他ー公開講座]

氏原 淳 「臨床研究に関する倫理指針」の総合解説 学校法人北里研究所(東

京)2014. 5. 26

氏原 淳 みんなで育てる未来のくすり ―新しい薬ができるまで― 平成 26 年度港区春季区民大学(東京)2014. 6. 5

氏原 淳 過去の事例から学ぶ 東京都病院薬剤師会「臨床研究を実施・支援するための研修会」～臨床研究を支援するために、こ・こ・か・ら始めよう！～(東京)2014. 9. 13

氏原 淳 新しいくすりや医療機器が開発されるまで 臨床試験・治験について語り合おう(大阪)2015. 1. 10

[その他ーその他]

飯島 肇、西脇真実子、片桐洋子 戦略的運営の視点からみた BRC-CTU の今後の展望 第 10 回北里研究所病院研究発表会(東京)2014. 11. 17

加藤正臣、安富蔵人、渡邊達也、上之原由佳、桑又真由美、佐橋邦彦、坂本哲也、飯島肇、矢内原 久、山田好則 核医学製剤標識作業を必要とする第 I 相試験の経験から 第 10 回北里研究所病院研究発表会(東京)2014. 12. 8

福嶋邦昭、中谷比呂志、中田靖子、白木文代、上之原由佳、玉野智子、飯島 肇 CAC 試験における眼誘発陽性率について 第 10 回北里研究所病院研究発表会(東京)2014. 12. 8

上之原由佳、福嶋邦昭、西脇真実子、多賀政晴、関口寛子、岩水明美、森田小夜子、片桐洋子、竹内 修、戸田京子、内田淳一、山田好則、中谷比呂志、飯島 肇、有沢紀子、伊藤勝彦 日本人健康成人を対象にしたイヌリン含有糖質制限チョコレートの血糖値ならびに血中インスリン濃度プロファイルの検討 第 10 回北里研究所病院研究発表会(東京)2014. 12. 8

岩月正人、石山亜紀、穂苅 玲、乙黒一彦、廣瀬友靖、砂塚敏明、松本厚子、野中健一、塩見和朗、清原寛章、大村 智、多賀政晴、飯島 肇、渡辺憲明 マラリア治療薬シードの探索研究 第 10 回北里研究所病院研究発表会(東京)2014. 12. 8